

フロンティアからの経済学入門

社会科学としての経済学

山田知明

明治大学

2012 年度 商学入門 (アプライド・エコノミクス)

What is the Economics?

フロンティアからの
経済学入門

山田知明

Introduction to Economics

The Lucas Critique
Two Conflicting
Views about Rational
Behavior

Rationality

Incentive
Moral Hazard

Anomaly

Risk and Uncertainty
Animal Spirit

How to Use Economics

Market Design
Strategic Behavior
Libertarian
Paternalism

References

- ▶ 「経済学 (Economics)」とはどのような学問か?
 1. 最適な資源配分 (Resource Allocation)
 - ▶ たぶん経済学 A・B で学びます
 2. 社会科学 としての経済学

Economics as Social Science

フロンティアからの
経済学入門

山田知明

Introduction to
Economics

The Lucas Critique
Two Conflicting
Views about Rational
Behavior

Rationality

Incentive
Moral Hazard

Anomaly

Risk and Uncertainty
Animal Spirit

How to Use
Economics

Market Design
Strategic Behavior
Libertarian
Paternalism

References

▶ 経済学の 科学的 側面

1. 統計データやモデルを駆使した分析
2. 「予測する科学」としての経済学
3. 様々な経済政策の影響・効果
4. 人間の意思決定 (Decision Making)
 - ▶ なぜ予測が外れたり、経済政策の効果が事前の予想と異なるのか?

The Lucas Critique

- ▶ 様々な経済政策の影響や有効性を測りたい
 - ▶ 過去のデータや他国の事例を調べれば良い？
 - ▶ ⇒ No!
- ▶ 「ある政策が実施されると、それに伴って人々は行動を変える。そのため、経済政策の効果を正しく測るためには人々の意思決定や行動の変化を理解しないといけない。」 by R.E. Lucas Jr.
- ▶ ⇒ 経済学は人々の意思決定を科学する学問

Two Conflicting Views

- ▶ 経済主体 (人間) は合理的か?
 - ▶ Yes!
 - ▶ 消費者は自分の満足度を最大化
 - ▶ 企業は利潤最大化
 - ▶ No!
 - ▶ 行動経済学 (Behavioral Economics)
 - ▶ アニマルスピリット (Animal Spirits)
by J.M. Keynes
 - ▶ 「理性的でない」わけではない

Incentive

- ▶ 人間はインセンティブ (誘因) に反応する
 - ▶ 経済学の中心命題

Incentive (cont.)

- ▶ 何故、選挙に行くの?
 - ▶ 市民の義務!
- ▶ でも、あなたの一票で勝ち負けは決まらないよ?
 - ▶ 僅差になるのは非常にレアケース!
 - ▶ 一票差で勝ち負けが決まる確率は奇跡的!!
- ▶ 一票差の例：アメリカ合衆国 (過去 100 年間)
 - ▶ 州選挙：4 万件中 7 件
 - ▶ 国政選挙：1 万 6000 件中 1 回だけ!

Incentive (cont.)

- ▶ それでも投票に行くの?
 1. 自分の一票が勝ち負けに左右するとそれでも信じている
 2. すごく低い確率だけど、自分の投票が政策に影響を及ぼすのかも
 3. 投票は市民の義務だから

Incentive (cont.)

- ▶ 投票行動のインセンティブはどこにある？
- ▶ スイスでは郵送で投票が出来るようになった！
 - ▶ 便利！
 - ▶ 投票率がアップが期待できる！！
 - ▶ ... 投票率は低下
- ▶ たぶん、投票は合理的な行動なのだろう
 - ▶ ← 「投票をしている自分を周囲に見せる」

Moral Hazard

- ▶ 人々は合理的かもしれないが、それは道徳心や正義を否定するわけでも肯定するわけでもない

Moral Hazard

- ▶ モラルハザード
- ▶ 誤解される意味
 - ▶ × 「道徳心の欠如」
 - ▶ ○ 「制度の悪用」
- ▶ 巨額の対外債務 (借入) を抱える貧しい国
 - ▶ 貧困国の経済成長を阻害している!?
 - ▶ 債務放棄を要求 (2000 年)
 - ▶ Jubilee 2000
 - ▶ ボノ (U2)、ローマ法王、ダライ・ラマ etc.

Moral Hazard (cont.)

- ▶ 有効な政策だろうか?
 - ▶ HIPC(Highly Indebted Poor Countries) イニシアティブ
 - ▶ 債務免除を予想する無責任な政府の行動は?
 - ▶ ちなみに、債務免除は何度も実行されている
 - ▶ 債務免除後も借入を行っている
- ▶ モラルハザードを引き起こす例
 - ▶ 金融機関の一律的救済
 - ▶ 過剰な所得再分配

Risk and Uncertainty

- ▶ 人々は不確かな未来のもとで、現在の意思決定を行わないといけない
- ▶ 「リスク」と「不確実さ」は別物
 - ▶ by フランク・ナイト

Risk and Uncertainty (cont.)

- ▶ エルスバーグ・パラドックス
- ▶ 壺 A(透明)
 - ▶ 赤い玉と黒い玉が 50%の割合で入っている
 - ▶ 自分で当たりの色を指定
 - ▶ その色を引いたら賞金
- ▶ 壺 B(中身が見えない)
 - ▶ 赤い玉と黒い玉が入っているが割合は不明
 - ▶ 自分で当たりの色を指定
 - ▶ その色を引いたら賞金
- ▶ どっちの壺から選びたい?

Animal Spirit

- ▶ 世界的金融危機
 - ▶ サブプライム・ローンというやつのせい
- ▶ 原因は?
 - ▶ 歪んだインセンティブ
 - ▶ 制度設計の誤りに伴うモラルハザード
 - ▶ 過剰なリスク・テイク
 - ▶ 注意：これだけではありません
- ▶ 繰り返すバブルの生成と崩壊
 - ▶ チューリップ狂事件 (17 世紀)

How to Use Economics

- ▶ 経済学を使おう!

フロンティアからの
経済学入門

山田知明

Introduction to
Economics

The Lucas Critique

Two Conflicting
Views about Rational
Behavior

Rationality

Incentive

Moral Hazard

Anomaly

Risk and Uncertainty

Animal Spirit

How to Use
Economics

Market Design

Strategic Behavior

Libertarian

Paternalism

References

Reinvesting the Bazaar

- ▶ AIDS やマラリアと闘う
 - ▶ 毎日、5000 人以上のアフリカ人が AIDS でなくなる
- ▶ 近年では、抗 AIDS 用の薬が開発
 - ▶ 年間で 1 万ドル以上の費用がかかる
 - ▶ マラリアの治療薬よりダイエット薬品の開発の方が盛ん
- ▶ マーケットの短所
 - ▶ 必要な人に必ずしも薬が行き渡らない
- ▶ マーケットの長所
 - ▶ 人命を救う薬を開発できた!

Reinvesting the Bazaar (cont.)

- ▶ 敵は製薬会社、病気、それとも貧困?
 - ▶ 90% 値引きをしても購入できないのは一緒
 - ▶ 薬を継続的に投与できる環境もそもそも揃っていない
- ▶ 現状
 - ▶ 製薬会社はエイズの治療薬を低価格で提供している
 - ▶ 製薬会社は、途上国から研究開発資金の回収をする事はどっちみち不可能なので、研究のインセンティブを阻害していない
- ▶ 開発途上国での新たな試み
 - ▶ マイクロ・ファイナンス

Thinking Strategically!

- ▶ 私が 1 から 100 までの数字から一つだけ思い浮かべます
- ▶ 当ててください!
- ▶ 許される質問は、その数字が上か下かのみ
- ▶ 「ゲーム理論」

Libertarian Paternalism

- ▶ 自由主義 (Libertarian)
 - ▶ 個人の選択の自由を保証
- ▶ 温情主義 (Paternalism)
 - ▶ 個人の選択肢を狭める可能性

Libertarian Paternalism (cont.)

- ▶ 行動経済学をどう政策に生かしていくのか?
 - ▶ 最適な学食のデザイン
 - ▶ フレーミング効果
- ▶ 合コンの費用 (食事のコース)
 1. 2,500 円
 2. 3,500 円
 3. 4,500 円
- ▶ 制度設計に活用
 - ▶ 「ナッジ (Nudge)」

References

- ▶ スティーヴン・レヴィット/スティーヴン・ダブナー 『ヤバい経済学 [増補改訂版]』 東洋経済
- ▶ アビナッシュ・ディキシット/バリー・ネイルバフ 『戦略的思考をどう実践するか』 阪急コミュニケーションズ
- ▶ ジョン・マクミラン 『市場を創る』 NTT 出版
- ▶ 依田高典 『行動経済学』 中公新書
- ▶ マッテオ・モッテルリーニ 『経済は感情で動く』 紀伊国屋書店
- ▶ リチャード・セイラー/キャス・サンステイーン 『実践行動経済学 健康、富、幸福への聡明な選択』 日経 BP